

今号の主な記事

- ◇来年4月採用予定の市職員を募集...2面
◇市民窓口グループ昼休み業務を拡大...2面
◇市民企画事業を募集「西宮虹舞台」...3面
◇保健だより...8面

原爆展

7月19日から24日まで開催

7月19日から24日まで、ギャラリー・フレントと西宮市国際交流協会展示コーナー(いずれもフレント西宮4階)で「原爆展」が開催されます。時間は午前10時(19日は11時)から午後6時(24日は正午)まで。入場無料。核実験反対署名のコーナーや原爆ドーム保存のための募金箱も設置しています。主な内容は次のとおり。

原爆ドームについての企画展
広島平和記念公園内にある世界遺産・原爆ドームについて、写真パネルなどで紹介。

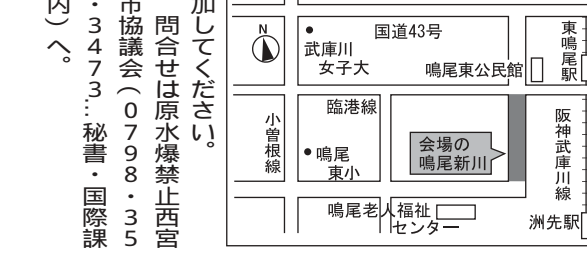
被爆資料・写真パネル
「原爆の強烈な熱線を浴びた服」など広島平和記念資料館から借りた被爆現物資料20点と写真パネルを展示します。

第五福竜丸
被爆資料
マグロ漁船・第五福竜丸は、昭和29年、アメリカがビキニ環礁で水爆実験を行った際、多量の放射能を含んだ「死の灰」を浴びて被爆。この「死の灰」や、当時の様子を記録した写真パネルなどを、第五福竜丸平和協会の協力を得て展示。

折り鶴コーナー
平和への祈りを込めた折り鶴を作ってもらい、後日、広島平和記念公園の「原爆の子の像」にささげます。

被爆体験者の講話
7月22日の午前11時、午後2時から西宮市大学交流センター(アクタ西宮東館6階)で。

平和灯ろう流し
8月5日午後7時から鳴尾新川で
原水爆禁止西宮市協議会と市、西宮市原爆被害者の会は、平和灯ろう流しを、8月5日午後7時から鳴尾新川で行います(下地図参照)。小雨決行。

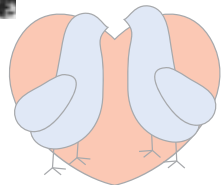


原水爆禁止西宮市協議会と市は、市教育委員会、西宮親子劇場と共に、毎年夏を中心に「原爆展」などの平和啓発事業を行っています。戦後60年が過ぎ、戦争を体験として語る人は少なくなっており、戦争や原爆被害の悲惨さ、恐ろしさを次世代に継承する大切さが再認識されています。今年も平和の尊さについて市民の皆さんに考えてもらえるように、また核兵器の廃絶と恒久平和の実現をめざして、平和啓発に取り組んでいきます。



被爆当時の原爆ドーム(林寿磨氏撮影)

恒久平和の実現をめざして 「原爆展」など啓発事業を行います



親子劇場映画会

平和の大切さを考える機会に

核兵器の恐ろしさを題材にした映画を鑑賞し、平和の大切さについて考えます。いずれも申込は西宮親子劇場(0798・34・2341:西宮市教職員組合内)へ。
《7月21日》
午前10時、午後0時半、3時からフレントホールで入場料800円(3歳以下無料)。

上映映画「はだしのゲン」:原爆で家族を奪われながらもたくましく生きる少年の話。「トビウオのぼうやはびょうきです」:核実験により死の灰を浴びた海の生物たちを描いた話
《7月22日》
午前10時、午後1時から西宮市大学交流センターで入場無料。

平和・非核学習の旅へ 親子広島バスツアー開催

被爆地を訪れ、平和の大切さについて親子で語ろうー8月5・6日に開催する「親子広島バスツアー～平和・非核学習の旅」の参加者を募集します。

平和記念式典に参列し、広島平和記念資料館などを見学するほか、原爆被爆者の体験談を聞きます。なお、今年から親1人に対し、子ども2人まで参加できるようになりました。

対象 小学4年～中学3年の子と親50人
費用 1人4000円
申込 ハガキに住所、参加者全員の氏名・年齢・性別、子の学校名・学年、電話番号を書き、7月13日(消印有効)までに原水爆禁止西宮市協議会(〒662-0911池田町11-1 秘書・国際課内☎0798・35・3473)へ。多数の場合抽選



- 西宮市の開催種目
●サーリング
●新体操
●ボクシング
●スポーツ芸術
●日本拳法
●ティーパー

西宮市の人口が47万人を超えました

6月12日、西宮市の推計人口が47万人を超えました。市は、これを記念して47万人を超えた日に出生届けを提出した新生児19人に、国体マスコット「はばたん」のぬいぐるみを贈呈しました。震災復興とともに人口

Table with population statistics: 6月12日現在の推計人口...47万0017人, 推計人口...46万9880人, 世帯数...19万5821, 面積...100.18km2